

# 令和4年度 第3学年 授業改善推進プラン

台東区立蔵前小学校

## 1 児童の状況及び実態

<b>国語</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙量に課題はあるものの、長い文章を書こうとする姿勢が見えるようになってきた。</li> <li>・主語と述語など、基本的文型の理解度が全体的に低い。</li> <li>・読解力に課題がある。</li> <li>・聞き取る力が全体的に弱く、聞き方に課題がある児童が多い。</li> </ul>
<b>社会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図記号について理解している児童が多い。</li> <li>・まちたんけんに行ったことにより、地域社会について意欲的に調べることができた。</li> <li>・地図を読み取る上で、必要な情報を集めて活用できない児童がいる。</li> <li>・社会に見られる課題を把握し、いろいろな資料を比べて考えることに課題が見られる。</li> <li>・資料の読み取りが苦手で、粘り強く取り組むことが困難な児童がいる。</li> </ul>
<b>算数</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すすんで問題を解いたり、計算をしたりしようとする意欲が高まっている。</li> <li>・量感が養われていない児童が多い。</li> <li>・文章問題の題意を正しく捉えることができず、正しい立式ができない。</li> <li>・時間の単位理解が十分ではなく、時間を正しく求められない児童が多い。</li> <li>・四則計算、特にかかけ算九九が身に付いていない児童が少なからずいる。</li> </ul>
<b>理科</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物や各教材に対して、様々な気付きや思いを抱くことができ、意欲的に学んでいる。</li> <li>・植物や昆虫の成長を喜んだり、活動の不思議さや面白さを感じたりする児童が多い。</li> <li>・差異点や共通点を基に、問題を見いだすという学習の流れに少しずつ慣れてきている。</li> <li>・実験を行う際、比較する内容以外の条件は揃えた方がよいことなどが身に付いていない。</li> <li>・実験結果の記録の仕方や表の読み取りなどが苦手な児童がいる。</li> <li>・問題解決の過程を通して、既習の内容や生活経験、観察、実験などの結果から導きだした結論と意味付けたり、関係付けたりすることが苦手な児童が多い。</li> <li>・理科では、問題を解決するために、どの知識をどのように活用すればよいのか、考える力が十分に身に付いていない。</li> <li>・自然の事物・現象に進んで関わり、問題を見だし、見通しをもって追究していくことが苦手な児童もいる。</li> </ul>

## 2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
<b>国語</b>	<p><b>○知識及び技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な文型の理解</li> <li>・効果的な技法の理解</li> <li>・語彙を増やす</li> </ul> <p><b>○思考力・判断力・表現力等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠を明確にした読解力の向上</li> <li>・既習事項を使った文が書ける</li> </ul> <p><b>○学びに向かう力、人間性等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の考えに関心をもち、聞こうとする態度</li> <li>・考えを積極的に述べようとする姿勢</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主語述語の確認、主語及び述語の省略文の確認を適宜行う。</li> <li>・体言止め、対比、倒置法などの技法について適宜指導する。</li> <li>・辞書を引く習慣を付けるとともに、一人一台端末を常備させることで、必要な時にすぐに調べられるようにする。</li> <li>・根拠となる文、単語及び技法を適宜指導する。</li> <li>・日記指導等を活用し、既習漢字や熟語等を積極的に使用する機会を増やす。</li> <li>・聞くときは、していることをやめ、聞くことに集中させる。</li> <li>・常に質問を考えながら聞くようにさせる。</li> <li>・一人の考えが集まってより良い考えになる雰囲気を作る。</li> </ul>

<p style="text-align: center;"><b>社会</b></p>	<p><b>○知識及び技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報を調べまとめる</li> </ul> <p><b>○思考力・判断力・表現力等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する</li> </ul> <p><b>○学びに向かう力、人間性等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図帳や地域の平面地図や立体地図、グラフ、写真、関係者の言葉などの具体的資料を活用して授業を進める。</li> <li>・地域や自分自身の安全に関して、地域や生活における課題を見だし、それらの解決のために自分たちにできることを選択・判断する時間、体験的活動を単元の中に取り入れる。</li> <li>・学習問題を追究・解決するために、社会的事象について意欲的に調べ、社会的事象の特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、調べたことや考えたことを表現しようとしたりすることができるようにする。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>算数</b></p>	<p><b>○知識及び技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長さや時間の量感</li> <li>・四則計算の定着</li> </ul> <p><b>○思考力・判断力・表現力等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章問題の題意を捉える</li> </ul> <p><b>○学びに向かう力、人間性等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じっくり考える姿勢</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中で、長さや時間を意識させ、量感を養う。</li> <li>・計算スキルやeライブラリーを利用し、練習を重ねる。</li> <li>・「分かっていること」「求めること」を確認してから問題に取り組みせるようにし、文章問題の題意を正しく捉えさせる。</li> <li>・一人で考える時間を十分に確保する。また、考えたことを友達と共有したり比較検討したりする。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>理科</b></p>	<p><b>○知識及び技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、実験などに関する基本的な技能</li> </ul> <p><b>○思考力・判断力・表現力等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の力</li> </ul> <p><b>○学びに向かう力、人間性等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・器具や機器などを目的に応じて工夫して扱うとともに、観察、実験の過程やそこから得られた結果を適切に記録できるようにする。</li> <li>・自然の事物・現象に親しむ中で興味・関心をもち、そこから問題を見だし、予想や仮説を基に観察、実験などを行い、結果を整理し、その結果を基に結論を導き出すといった問題解決の過程の中で、問題解決の力を身に付けられるようにする。</li> <li>・自分の学習活動を振り返り、意味付けをしたり、身に付けた資質・能力を自覚したりするとともに、再度自然の事物・現象や日常生活を見直し、学習内容を深く理解したり、新しい問題を見いだしたりできるようにする。</li> </ul>